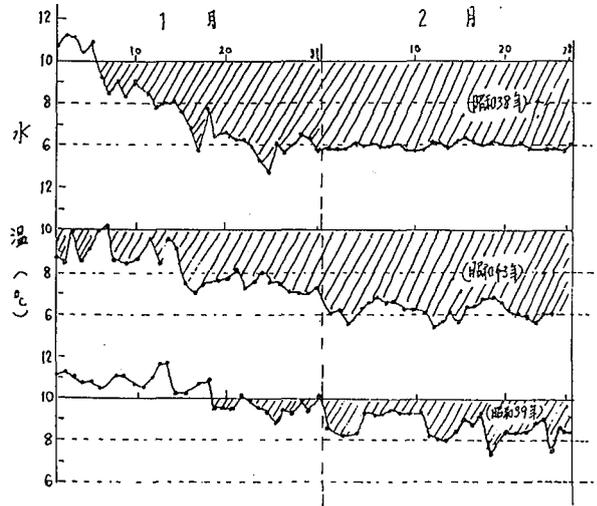


今年のイカナゴ漁況 (第3報)

海況の推移 播磨灘、大阪湾における水温は、1月中旬ころまでは、8.0~9.0°Cで例年より0.5°C内外低目を示していたが、1月中旬後半から2月中旬にかけて、漸進的ではあるが数回強力な寒波が襲来したため、両海域の水温降下が顕著となり、2月中~下旬には6.0~6.5°C(明石港口)を示すに至った。

このような低水温は、異常冷水現象を生じた昭和38年の同期と大差ないが、第1図に示すように、昭和38年の場合は1月中~下旬の比較的短期間に6°C台に急降しているが、今年には1月中旬から2月下旬にかけて長期にわたって低下する推移であった。したがって低水温による水産生物への死現象も昭和38年のように急に生起していないが、2月中旬になって局所的に魚類の仮死、へい死現象がみとめられている。水温の長期変動では、昭和36年以降の冬期水温は低目で寒冬傾向にあるが、その中で、昭和39年(フルセが多く、シンコが少ない)は暖冬型で、8°C以下に降下した日はほとんどなかった。昭和38年は特に産卵量が多い年ではなかったが、稚仔が広範囲に散ったため、その生残る割合が高まり、例年量を上廻った。

(第1図)



稚仔の分布状況 第2報では1月上旬のイカナゴ稚仔の拡散初期の状況を示したが、その後の気象、海象条件によって、どのように産卵場から拡散したかを第2図に示す。上述のように、1月中旬以降は季節風の吹送日数が多かったため、淡路島周辺発生群(主に鹿の瀬、宝津の瀬)の大半が大阪湾へ、一部は淡路島西岸沿いに移送されている。今年の親魚(フルセ)の年令組成から推して産卵量はさほど多くなく、質もよいといえないが、2月上旬の分布状態では稚仔の減耗はかなり少なかったものと思われる。また、播磨灘へは、小豆島西部海域で発生した群が添加されるが、添加量が少ない年(昭和37年、39年など)には、播磨灘中部域で全く稚仔の採集されない空白域がみとめられる。今年には1月中旬~2月上旬にかけて、昨年と同程度の添加があったことがうかがわれる。

今後の見通し 第1報でイカナゴ当才魚(シンコ)の発生量の多少には、多くの条件が満足されねばならないことを指摘したが、今年の場合、親魚の年令組成以外はかなり満足すべき条件がそろっているといえる。昭和38年も今年とほぼ相似した条件で、当初は例年漁が予測されたが、当才魚の漁期は1ヶ月近くおくれたとはいえ、結果的には例年漁を十分上廻る漁獲を示した。しかし、昭和28年、36年、40年のような好漁年は全部の条件がそろっているため、今年も多目に見積っても例年漁をやや上廻る程度と思われる。なお、最近ではイカナゴ当才魚の需要が、食用としては低下しているが、養漁飼料として大いに増大しているため、漁期初めの小さいものより、成長した大型のものが多獲される傾向にある。したがって好、不漁の表現あるいは印象も、当該漁業の関係者によって従来とは異ってきている。いづれにしても、今年の当才魚の発生量は1~2月の間に決定されている。3~4月の水温上昇が早くなれば、魚群形成もその成長も促進されるだろうが、ほぼ昭和38年に近い漁期、漁獲量を想定した生産方式が妥当と考えられる。(浜田)

合併コーナー

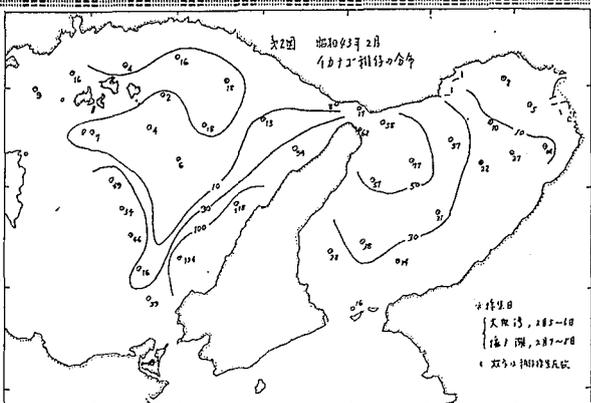
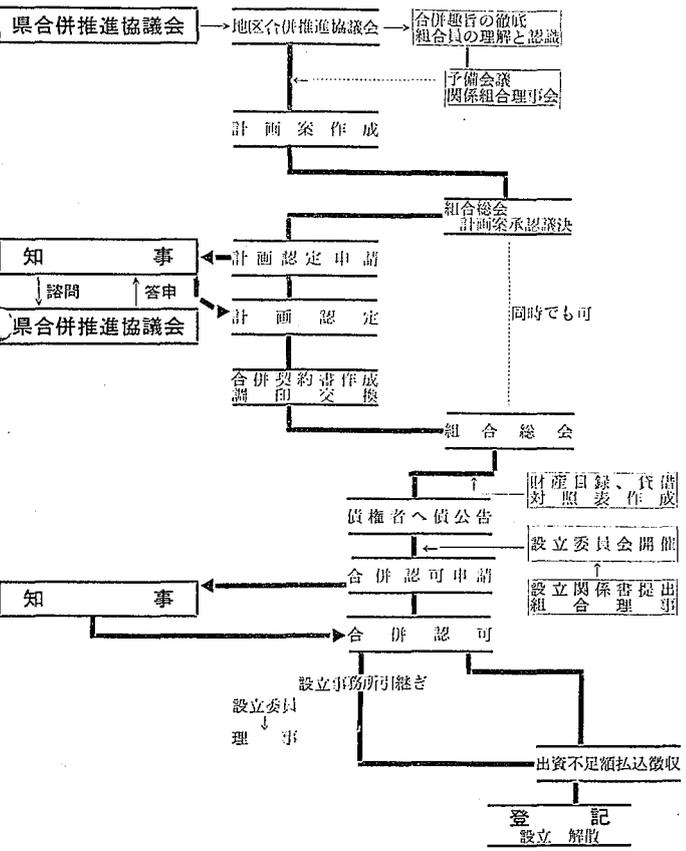
もう一度
漁協の
がっぺい
考えてみよう!!

県でもこのことの重要さから水産課をあげて、下表の如き組織のもとに強力な体制で推進されていることほすでお知らせしたとおりであるが、実は漁業者の一人一人が合併の目的と必要性を、ひとことではなく実際に真剣になって考えてみる期間がきたことを改めて痛感させられる次第である。

今こそでもう一度、下表を御覧になって熟考してみようではありませんか。

参考までにすでに現在表中の「地区合併推進協議会」の結成をみた地区は次のとおりですが、他地区においても着々と結成が進められていることは心強い限りです。

高砂市漁業協同組合合併推進協議会(以下会名略)。加古川市、播磨町、明石市、北淡町、五色町、西淡町、津名町、本市以上9地区



コボロ マルチターゼル

いつも漁場に一番のり

- 主機用 4~1000馬力
- 捕機用 8~3000馬力

国づくりから米づくりまで

久保田鉄工

●3MKE形/35馬力

養魚の調餌から造粒そして投餌まで

この機械がします

最近の人工飼料の需要の増加にとともに、生魚と人工飼料をよく練り合せ、造粒装置(チョッパー)で固型にして投餌する時代となりました。この一連の作業をこの機械が行ないます。

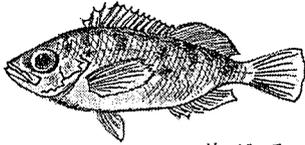
(配一報次第カタログ願います)

ミートチョッパーとプレート、ナイフの専門工場

株式会社 平賀工作所 神戸市長田区水笠通2丁目70番地 TEL代表神戸062-1527



(8) 『めばる』



めばる

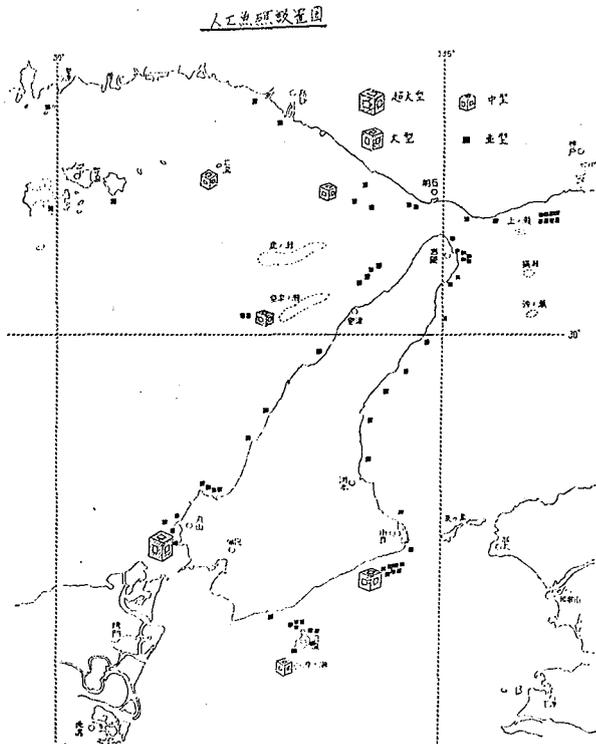
南日本の魚で他の魚と違って多くの方言がなく、全国的に「メバル」と呼ばれているが、富山地方では「モバチメ」とも呼んでいる。

「眼張」、読んで字の如く、大きい眼で見張っているところからその名が付けられたとか、分布域は我国の北海道南部から以南、朝鮮沿岸の藻の多い磯、岩礁などに棲息し、小魚、小エビ類を好み

み体長20~30cm位まで成長する。又この魚は胎生であり、初春(2月)頃に仔魚を生む。海岸近くで繁殖し、成長にしたがって沖合の岩礁地帯に棲息するようになる。その棲息場所、(海の浅深など)により、種々の体色を持ち、それぞれ「アカメバル」、「キンメバル」(シンチュウメバル)、「クロメバル」などに区別され呼名も変るがこれらは同一種内の異型と見るべきであろう。又同族の「タケノコメバル」は、体色が暗灰色で瀬戸内海に多く棲息し、その字名のとおり筍の出る季節に殊に美味になり、体色も筍の皮色に似ているためにその名があるとか、又これによく似た「キツネメバル」は北日本の沿岸魚で全長約40cm位になり北海道、日本海沿岸、朝鮮東岸に亘って分布するが、メバル科ではまずくあまり食用にはされていない。一方俗に明石地方でいう「アカメバル」はメバル科の中の「カサゴ」のことで、大阪、神戸、淡路地方では「ガシラ」と区別して呼んでいる。漁獲方法は主として一本釣、建網、掛網などのことによるが、産卵期集合群を底曳網で漁獲するところもある。近年幼魚の乱獲が目立ち次第に減少しつつあり、その資源保護のため各地において盛んに人工魚礁が設置されているが漁獲高は僅少である。市場ではいわゆる磯物高級魚として取引され、年中美味である。特に冬場は煮凝りにしたものが好まれる。(岩井)



かさこ



但馬漁船の遭難に想う

私は、昨年四月この但馬十七名の海の男達の尊い命の法要に参列して遭難の人々に赴任して今日で十一ヶ月目を迎えた。そして夏の太陽の輝きを、海をこまめに吸いこみ、呼んで騒ぎ、白い牙をむき出して岸を嘯む海。そのまじく、愛らぬ自然の素直さとして、ひそやかな誇りさえ感じていた。この海が去る。二月二十四日二隻の船と十二名の漁業者の命を奪い去り、人々を吐け口のない悲しみと怒りの中に追いやったのである。今日この海は陽光を浴びて全うの出航を素知らぬげに遠く水平線まで見えておだやかに静まりかえっている。但馬の海は戦後既に四回

救命胴衣を携帯していれば人は救かったと、それを携帯させる為にはどうすればいいの、小艇船であったからと、操業に無理があったからと、しかし無理でない安全有利な漁業はどのような漁業であろうか。小艇船を容易に大形化するような方法はあるだろうか。この遭難は漁業では漁業は働き手を手放さなければならぬ、恐ろしくして事案であろうが、ではどうすればいいの、漁業者の遺族の生活の今、生活保障は充分なのだろうか。漁業の共済制度は万全であるのだろうか。次に、疑問と課題がこれらすべてに對して今明確に答えられるものを持ち出さない。だが日本海の海が自然の恩恵を失なわぬ限り、但馬の漁業者の人々は海に挑み続けることは確かである。そのため徒らに悲観論におちることには許されぬ。この厳しい海に挑む人々の為には、のさやかな努力と仕事を通じて、疑問と課題についても一度あきらめることなく考えてみたいと思う。二月二十八日 香住(狩野)

最近の三種機関士試験問題

- 機関術(その一) 1時間30分 昭和43年1月香住臨時
1 内燃機関のシリングの中で、燃料のわりに空気が少いと、どのような結果になるか。
2 内燃機関のピストンは上部の径が下部よりいくぶん小さくしてあるのはなぜか。
3 内燃機関を始動する前にしらべておかなければならない箇所をあげよ。
4 内燃機関の運転を停止した直後どのような作業をするか。
5 四サイクルディーゼル機関の排気弁の開閉時期をクランク角度で示せ。
6 四サイクルディーゼル機関のシリングカバーに取り付けられている附属品の名称をあげよ。
7 下記のうちいずれか1間について答えよ。
(一) 四サイクルディーゼル機関の始動要領を述べよ。
(二) 焼玉機関を寒冷時に始動した場合とくに、どのようなことに注意しなければならぬか。
(三) 電気点火機関の運転中出力が低下した場合にしらべる事項をあげよ。
8 下記のうちいずれか1間について答えよ。
(一) ディーゼル機関の燃料噴射弁の空気抜き弁はどんな役目をするか。
(二) 焼玉機関の燃料噴射弁のノズルハンドルはどんな役目をするか。
(三) 電気点火機関の点火時期の調整はどのようにして行なうか。
機関術(その二) 1時間
(問題については次号に掲載)

獲り、育て 繁栄をささえるクレモナ
クレモナ
漁網・海苔網・ロープ
倉敷レイヨン株式会社
大阪市北区梅田8 / 東京都中央区日本橋通3の1

神戸赤ディーゼル (使う身になって作る赤機械)
堅平 / 高出力 / 経済的
N623RS350PS (低速機、全長3.9米)
神戸発動機株式会社
本社及工場 神戸市兵庫区須佐野通8丁目10 TEL (078) 5031-6
支店及出張所 長崎(工場及支店) 東京、下関、北海道、仙台、今治

